



チェック項目	はい ○	わからない (無回答)	いいえ ×	工夫点	職員間の改善目標他
環境・体制整備					
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				
職員の配置数は適切であるか	80%	20%		専門職の垣根を超えた協力をしあっています	入退職員がある時も、配置数は必要数になっておりますが、定期的に保護者様にむけ、現職員の状況をお便りで報告致します。
設備等について、バリアフリー化の配慮等が適切になされているか	100%				
適切な支援の提供					
必要時に面接や聞き取りを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	100%				
個別支援計画には「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	80%	20%		地域支援の範囲をどのように広げるか	より具体的な支援内容を提示できるように検討していきます。
個別支援計画に沿った支援が行われているか	80%	20%			会議だけではなく、振り返る時間をつくっていきます。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				
活動プログラムが固定化しないように工夫をしているか	100%			コロナ禍対応	新型コロナウイルスでの環境にも工夫を行います。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	100%				
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	60%	40%		情報提供文書での周知と支援	毎日の支援開始前に療育情報提供文書を確認し、さらに毎月の療育等会議が役割を担っていると考えております。
支援終了後には、行われた支援の振り返りを職員間で行い、気づいた点を共有しているか	100%				
日々の支援記録をとり、支援の検証や改善につなげているか	100%				
定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				
保護者や関係機関との連携					
担当者会議には、その子どもの状況に精通した最もふさわしい職員が参画しているか	100%				
主治医他、関係機関と連携し支援を行っているか	100%				
子どもの在宅支援のために地域の関係機関と連絡体制を整えて支援しているか	100%				
医療的ケアの部分において、子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	100%			医療的ケア連携システム	直接かかりつけ医より指示をいただき、各関係機関とも相談をしております。
移行支援として、保育所や小学校との間で支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	100%			情報提供文書の利用	養護学校、聾学校、盲学校、わかさ学園等と連携しております。
他の専門機関（児童発達支援センター、子育て会議、旭児連等）と連携し、助言や研修を受けているか	80%	20%			新型コロナウイルス禍で、今年はどこまで出来るかわからない点があります。
障がいのない子どもたちと交流や活動する機会があるか		20%	80%	保護者様へのご意見を伺う	兄弟以外での子ども達とどのように交流をしていくか、感染予防を十分考慮し、計画をたてていきます。
日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解をもっているか	100%				
保護者の対応力の向上を図る観点から、医療的ケ	50%	50%			個別の相談に対応をしていきます。

ア、療育、リハビリにおいて家族支援のプログラム等を作り行っているか					
保護者への説明責任等					
運営規定、利用者負担等について丁寧な説明をしているか	100%				
児童発達支援ガイドラインの提供すべき支援のねらいに基づき、個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	80%	20%			
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				
保護者様が集まりやすい活動のサポートや企画をたて開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%				
子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、相談や申し入れに対して迅速に対応しているか	100%				
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか	100%				
個人情報の取り扱いに十分注意しているか	100%				
子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	20%	60%	20%	壁をつくらない地域と施設環境	昨年までの健康サークルを今後も継続できていけるか検討していきます。
非常時の対応					
緊急時マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を実施しているか	100%				
定期的に避難訓練や救出訓練を行っているか	100%				年に春と秋の2回避難訓練等を開催しています。
子どもの体調把握や状況を事前に確認しているか	100%				通所前チェックにて状況を確認しています。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				
虐待を防止するため、適切な対応をしているか	100%				児相より講師を招き、研修を行っております。
どのような場合に身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、十分な研修と説明を行った上で、個別支援計画に記載しているか	50%	50%			現在、身体拘束を必要とするお子さまは当施設にはおりませんが、強度行動障害基礎研修を修了した者を配置しています。 改めて検討し、適切に対応してまいります。

この自己評価結果（公表）は、事業所全体で行った自己評価です。